

みんなで作ろう 元気 大津 人と自然にやさしい 心かよいあう まち

平成22年度 予算

平成22年度町の予算総額

176億3,677万円

平成22年度の予算額は、一般会計で110億7,031万円です。対前年比5,284万円、0.48%の増額です。特別会計と合わせると176億3,677万円で、前年度の当初予算より1,315万円、0.07%の減額となっています。一般会計の予算規模は、大津小学校分離校新設工事や子ども手当の新設により増額が予想されましたが、むらづくり交付金事業の終了や法人町民税の歳出還付がなくなったことで減額され、昨年とほぼ同規模の予算編成になっています。特別会計予算の総額は、65億6,646万円で対前年度に

比べると、6,599万円の減額です。特別会計の予算規模は国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などで増額になったものの、農業集落排水事業の大幅な減額で、昨年度とほぼ同規模の予算編成になっています。個別に見ると、国民健康保険が5,914万円増額、公共下水道が970万円増額、介護保険が5,888万円増額、後期高齢者医療が736万円増額、工業用水道が1,228万円増額になり、老人保健が265万円減額、共有財産が178万円減額、農業集落排水が2億891万円の減額となっています。

平成22年度の予算規模

会計名	予算額	対前年比	会計名	予算額	対前年比
一般会計	110億7,031万円	0.48%	介護保険特別会計	19億5,781万円	3.1%
国民健康保険特別会計	26億5,619万円	2.28%	高齢者の皆さんの介護に関するサービス給付が主な会計です。		
農業や自営業、退職者などの皆さんで保険給付や人間ドックなどの保健事業の会計です。					
老人保健特別会計	339万円	△43.91%	農業集落排水特別会計	4億5,550万円	△31.44%
高齢者(老人医療受給者)の皆さんの医療給付が主な会計です。					
大津町外四ヶ市町村共有財産管理処分事務受託特別会計	243万円	△42.29%	後期高齢者医療特別会計	2億4,386万円	3.11%
大津町、南阿蘇村(旧長陽村)、菊陽町、菊池市(旧旭志村、旧泗水町)、合志市(旧合志町)の市町村で1,108haの共有財産、緑資源公団の分取育林管理などの会計です。					
公共下水道特別会計	11億6,636万円	0.84%	工業用水道事業会計	8,093万円	17.89%
生活環境の向上と河川の汚濁防止などを目的に、生活雑排水などの処理施設を整備する会計です。					
熊本中核工業団地内の工場で使用される工業用の水道給水を行うために設けられた独立採算制の会計です。					

※表示単位未満端数処理のため合計額は一致しない場合があります。

合計 176億3,677万円(△0.07%)

新エネルギーの導入 普及を

都市計画道路「駅前築善線」の早期完了に向けた事業の推進。「西鶴中井迫線」は、早期完了に向け、県に要望を引き続き行っています。

肥後大津駅周辺の整備は、将来のまちづくりを見据えた肥後大津駅周辺整備計画のビジョンに基づき、駅前広場や、駅南口の整備を進めます。また、町の公共交通の課題に総合的に取り組むために、地域公共交通総合連携計画を策定しました。その基本方針に基づき、交通弱者への対応や肥後大津駅周辺整備、大津中央バス停周辺整備と連携し

五 安心、安全に暮らせる まちづくり

の耐震補強などにも力を注いでいきます。また大津小学校の過大規模校解消のため、美咲野団地内に大津小学校の分離校を建設することになっています。皆さんの意見を伺いながら、平成25年度の開校に向けて事業の推進に努めています。

た公共交通の活性化のための取り組みをします。

防犯については、昨年、肥後大津駅前、駅前パトロールセンターを設置しました。大津警察署や防犯ボランティアの協力で防犯活動を行っています。今後は町の情報発信を行うなどの地域づくりの拠点としても活動していきたいと考えています。

六 美しい自然環境を守る まちづくり

自然環境は、有限であり、次の世代と共有すべきものだと考えています。水田水張りや植樹を行い、また資源回収団体への支援、生ごみ処理機器購入の促進を引き続き実施し、環境負荷を低減し、地球環境に配慮したまちづくりを目指しています。

廃棄物分別徹底やごみ減量化推進のため、極小の燃やすごみ袋を新たに導入します。また生ごみ処理のダンボールコンポスト購入助成にも取り組みます。

七 人を大切にする まちづくり

今年4月から人権推進課を役場庁舎内から町人権啓発福祉センター内に配置替えをし、地域と連携した事業を展開しているところです。

人権啓発福祉センターを拠点に、すべての人の人権が尊重され、差別のない社会づくりを目指し、町全体へネットワークの拡大を図り、「人権のまちづくり」を進めます。

それぞれの人生でお互いの人権を尊重しながら、心が豊かで、個性や創造性に優れた人材が育つよう「人を大切に

するまちづくり」に努めます。

八 地域文化・スポーツの振興

大津地区公民館分館が移転し、完成しました。地域交流の拠点としての、施設の活用ができるものと考えています。各地域で、さまざまな伝統行事としての文化が残っています。現在、取り組んでいる地域づくり活動支援事業も、引き続き地域への活動支援を行い、皆さんがふるさとを思う気持ちを大切にしていきたいと考えています。

スポーツ・文化施設については、まちづくり交付金事業を利用し、改修整備を行いました。生きがいづくりや健康づくりができる体制づくりに努めてまいります。

今こそ「地域力」を

今後は、町民の全員で知恵を出し合い、力を合わせて、「地域力」を発揮し、創意、工夫を重ねていくことが求められています。町の振興総合計画のキャッチフレーズである「人と自然にやさしい 心かよいあう まち」づくりのために、自らが、先頭に立ち、職員とともに一丸となって、全力で各種施策の推進に取り組みます。

町民の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。